資料　2

より確かな災害対策に向けた取組みの強化

【趣旨】

- □ これまでに、「いのちを守る小田原」推進会議を設置し、「災害対策の強化」、「持続可能な暮らしの実現」、「被災地・被災者支援」の3つの柱で取組みを進めてきました。
- □ 東日本大震災から5ヶ月が過ぎ、被災地では復興に向けた歩みが進められるなか、被災地にも学びながら、これまでの取組みをより確かなものにしていくことが必要です。
- □ そこで、地域防災計画全面改訂や平成24年度当初予算編成の機を捉え、全庁的に災害時を想定した取組みの質を高めるとともに、改めて日常の業務を災害対策の視点でとらえ直し、より確かな災害対策に向けた取組みの全体像を示します。

【取組み強化の流れ】

大震災を踏まえたまちづくり方針
に基づく取組み

地域防災計画全面改訂作業

「おだわらTRYプラン」の推進

平成24年度当初予算編成作業

強化する取組み

災害対策の抜本的強化
- いのちを守るための安全確保
- 津波対策
- 情報伝達手段の拡充
- 自主防災の補強と役割分担徹底
- 避難場所のあり方見直し
- 災害時要援護者への対応
- 物資やボランティアの受け入れ
- 市役所機能のバックアップ

持続可能なまちづくり
- 安全なエネルギーの地域での確保
- 十分なケアの場と機能の確保
- しっかりとしたコミュニティ
- 水・食料の自給
- 問題解決能力と、防災教育

被災地への支援活動の継続

「災害対策の抜本的強化」において、喫緊の対応が必要な取組については、特に事業優先度を高め、平成24年度当初予算に反映させる必要があります。

「いのちを守る小田原」の実現へ